



中小企業における 産業用ロボット導入事例

ロボットの活用は、人手不足の解消・労働環境の改善・生産性向上に役立つ重要な手段の一つです。北九州で活躍する中小企業の皆様のロボット導入事例の一部をご紹介します。

導入事例
その1

重労働へのロボット活用

■ 企業名 有限会社 久保田鉄工所

■ テーマ 自動車用プレス部品の自動搬送ロボット導入による生産性向上

導入前



人手によるプレス機への材料投入

導入後



自動車用プレス部品の新製造設備全景



ロボットによる材料投入



ロボットによるプレス間搬送

労働生産性

6倍

人数

12名

2名

稼働時間

8時間

8時間

導入
効果

- 人手不足の中、ロボット導入による作業の省人化と作業員の負担軽減を実現
- ロボット稼働による安定生産と生産サイクルタイムの向上による生産能力の向上

導入事例
その2

樹脂成形機からの自動取出しロボット導入

■ 企業名 株式会社 桑野鐵工所

■ テーマ 樹脂成形機からの最新自動取出しロボット導入による生産性向上

導入前



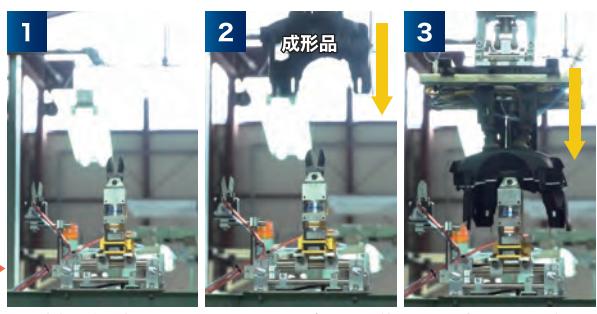
人手による成形品の切断作業

導入後



導入効果

- 最新式ロボットにより取り出し作業時間を短縮して生産能力を20%向上
- 成形品の切断を、人手作業から自動切斷機による切斷とし、一連の作業が全て自動化することで、省人化と品質の安定化を実現



樹脂成形機から取出すと同時に自動切斷機で不要部分を切斷

労働生産性

1.8倍

人数

1.5名

稼働時間

8時間

生産量(日)

400個

480個

塗装作業におけるロボット活用

企業名 有限会社 専塗工業

テーマ ロボット導入による粉体塗装作業環境の改善と生産性向上

導入前



人手による粉体塗装作業

導入後



労働生産性	1.5倍
人数	3名 ▶ 2名
労働時間	7.5時間 ▶ 7.5時間
生産量(月)	17,000個 ▶ 17,000個

導入効果

- 配電盤・制御盤内部品の粉体塗装作業における作業員の負担軽減と作業環境の改善
- ロボットの塗装作業で塗装膜厚の均一化により塗装面の仕上がり品質の向上を実現

産業用ロボット導入のご相談は
「北九州市 ロボット・DX推進センター」にお問い合わせください

産業用ロボット導入に関する補助金

産業用ロボットの導入を検討する北九州市内の企業に対し、産業用ロボット等導入費用の一部を補助します。

- 産業用ロボット等の導入前検証(FS)補助金
- 産業用ロボット導入支援補助金

導入実績豊富なコーディネーターによる無料診断

- 生産現場で問題点の洗い出し
- 生産ラインの自動化提案
- 産業用ロボットのデモ展示も見学可能

北九州市 ロボット・DX推進センターとは

北九州市 ロボット・DX推進センターは、地域の中小企業のニーズに応え、ロボット導入やDX(IoTの導入、業務のデジタル化等)推進をワンストップで支援するために、2022年4月から活動を開始しました。

当センターでは 導入支援 操作体験 人材育成 等の取組みを通して、ロボット導入やDX推進に意欲のある地域企業を総合的・一元的に伴走支援します。

また、集いつながりの場として、地域企業と高等教育機関、金融機関等との連携を促進し、産学官金のハブとしての機能を果たします。



導入支援

無料相談・現場訪問・伴走支援

産業用ロボット導入やDX推進等に取り組む企業に対し、経験豊富なコーディネーターが相談企業の課題解決を伴走支援します。また、段階に応じて、専門家の派遣や補助金の紹介などワンストップで支援します。

操作体験

ロボット・デジタル展示

産業用ロボットやデジタル機器のデモ展示を行っています。見て、触れ、操作することができます。コーディネーターが丁寧に説明します。

人材育成

人材育成講座・スクール事業

ロボットやIoTの導入、活用等を推進する企業向けの人材育成講座やスクール等を開催しています。経営層向け、現場リーダー向け等があります。また、地元大学生のインターンシップ型アルバイトを行います。

北九州市 ロボット・DX推進センター ロボット産業推進部

運営：公益財団法人 北九州産業学術推進機構 (FAIS)

〒808-0138 北九州市若松区ひびきの北8-1 技術開発交流センター1F
TEL 093-695-3085 FAX 093-695-3525 URL <https://www.ksrp.or.jp/robo-dx/>

